

# 花の彩り

五十川真子 作詩作曲

## 一、桜花

花の彩り 桜花  
ほのかに 桜色  
香る里

## 二、紫草（むらさき）

紫草匂う 我が背子は  
千里の離越ゆる  
縁（ゆかり）ゆえ

## 三、撫子

夏の名残り惜しさ  
秋立ち 雲立ち  
蝉時雨（ツクツクボウシの合方）  
おしおしつくづくと  
百日紅（さるすべり）空一面  
ふと足元に  
撫子の花

花の彩り（はなのいろどり）～桜花～紫草～撫子～（さくらばな・むらさき・なでしこ）  
2014年8月31日作曲

三味線一丁と歌のみという、最もシンプルな構成ですが、だからこそ、楽器の特性である三味線のサワリの響きと、日本語の歌を味わっていただけたら幸いです。

### 「桜花」「紫草」

中彩香能（香里）さんと こうの紫（ゆかり）さん

「三味線なでしこ」は、私の大切な友人 そして仲間 家族です。  
華やかな彩りを放つ二人の三味線奏者の姿にひらめきを得、二人のお名前を詠み込み作詩し、後から作曲しました。

### 「撫子」

夏が去ってしまう、8月31日の寂しさ、ツクツクボウシの声、百日紅の鮮やかさと空の色、想いながら、詩と曲同時にあっという間にできてしまった曲です。